

解答例

適性検査Ⅰ

1 100点

〔問題1〕 20点

うるしという素材をさわり続けることで、言葉にはならない

ア 真実の世界 を イ 具体的な形と色に置きかえる ことをめざす営み。

〔問題2〕 20点

黒板を使うことで、研究を推し進めることになるだけでなく、

ウ 過去の学者とつながったり、新しいアイデアや考え方につながったりできる から。

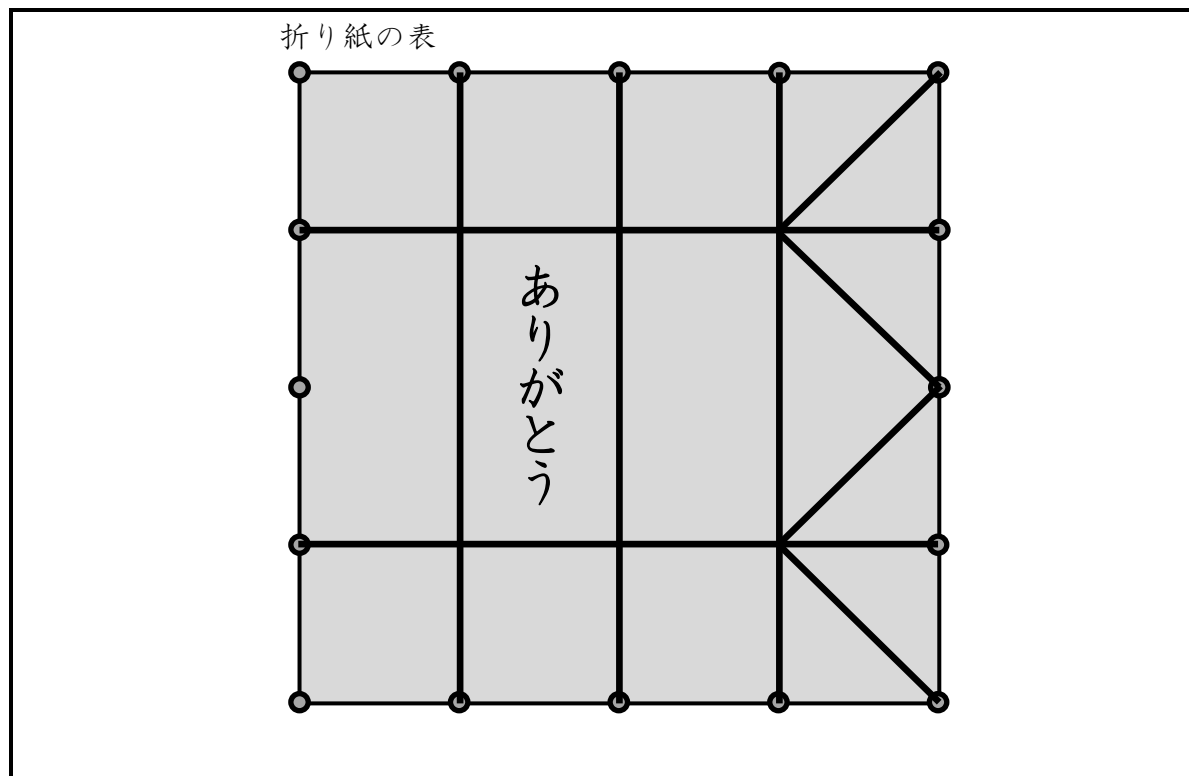
〔問題3〕 60点

(省略)

適性検査Ⅱ

1 40点

〔問題1〕 20点



〔問題2〕 20点

(5円こう貨が1枚^{まい}ではない理由)

お金の入ったぼ金箱の重さから空のぼ金箱の重さを引くと、お金だけの重さが出る。

$552.64 - 452.14 = 100.5$ である。

5円こう貨だけが1まいあたりの重さの小数第二位の数字が5だが、お金だけの重さの小数第二位の数字は5ではないから。

こう貨	1円	5円	10円	50円	100円
枚数	1枚	4枚	1枚	2枚	15枚

合計の金額

1631

円

2 30点

〔問題1〕 15点

地形に着目すると、鹿児島県の方が静岡県より急けいしゃのわり合が小さく、茶
つみ機が導入しやすいから。また、つみ採り方に着目すると、京都府では、高級茶を
製造するために、今も手づみが行われているから。

〔問題2〕 15点

(1)	<2010年>	2.6	%
	<2024年>	11.8	%

(2) まっ茶に関する日本の文化・歴史を伝えるために、茶道をしょうかいするポ
スターを英語などの様ざまな言語で作成し、駅や観光地と協力して、多くの外
国人がおとずれる場所にけい示する。

3 30点

〔問題1〕 16点

〔ア〜クの中から三つ〕 (ア) (オ) (キ)

〔説明〕 アとオを比べると重い方が着地するまでの時間が短い、オとキを比べ
るとキの方が重いのに着地するまでの時間が同じであるから。

〔問題2〕 14点

種Aの方がおそい

種Bの方がおそい

どちらも同じ

〔説明〕 実験3でも実験4でも種をはなしてから100cmまでの落下する様子
は同じなので、実験3と実験4の種をはなしてから着地するまでのきょり
の差と時間の差をそれぞれ求めると、きよりの差は80cmで同じだが時
間の差は種Bの方が長いから。

適性検査Ⅲ

1 60点

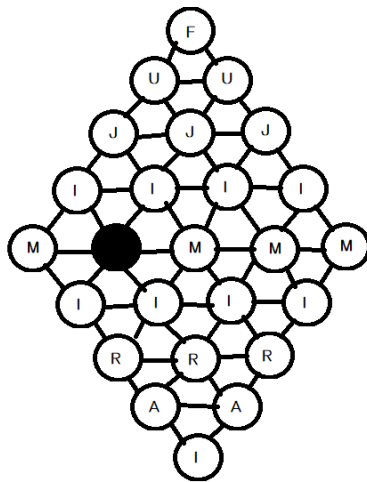
〔問題1〕 10点

15通り

〔問題2〕 20点

(1) 70通り

(2)



〔問題3〕 30点

(1) かべにぶつかると、前に曲がった方向とは逆の方向に曲がる

(2) ①と②

(3) ⑤と⑥と⑦と⑧

2 40点

〔問題1〕 20点

(1) 式 $25 + 12 - 1 = 36$

答え 36 まい

(2) 式 $(10 + 13 - 1) \times 2 = 44$

答え 44 まい

〔問題2〕 20点

記号 ②

体積 150.72 cm^3